

はちろうがた

2007年1月 90号

# 議会だより

発行：八郎潟町議会

編集：議会広報編集委員会

〒018-1692 秋田県南秋田郡八郎潟町字大道80

TEL 018-875-5810

迎春

八郎潟小学校創立30周年記念式典



希望に向かって 翔る 打瀬の子



- ◆ 2 ページ …… 年頭のごあいさつ
- ◆ 3～5 ページ …… 一般質問
- ◆ 6 ページ …… 委員会審議
- ◆ 7 ページ …… 水質対策で要望  
広域ゴミ処理場完成予想図
- ◆ 8 ページ …… 請願・陳情

# 年頭のごあいさつ



八郎潟町議会議長

小柳

勉

高度情報化の基盤が整備されたことは、  
”小さくてもキラリと光る町“の町づくりの  
成果であります。

アオコ対策は、重要な緊急課題、町当局、  
議会一丸となって取り組みます。

あけましておめでとうございます  
新たな希望を胸に、夢描く新春を迎え、  
謹んで町民の皆様のご健勝と、ご多幸をお  
祈りいたします。

秋田わか杉国体、ウエイトリフティング  
競技をみんなの力で成功させましょう。

積極的な先行投資で、公共下水道（農業  
集落排水含）普及率、水洗化率96%で、県  
内25市町村で第3位、町道中央線、県内に  
誇る中学校建設などで、起債償還が多額の  
時期を迎え、自立により地方交付税の減額  
も大きく、町財政は厳しいが、町当局では  
数年辛抱すれば、平成23年以降は、実質公  
債比率は大きく改善され、18%以下になる  
財政の見通しを示しております。

超高速インターネットアクセス環境整備は、  
今月中旬から、町全域が利用対象になり、  
全県2位、積極的な利用で農業、商工業の  
振興、福祉や、くらしの向上に大きく役立つ、

今後の議会運営については、町長の権限  
による行政執行を、公正にして建設的なチ  
ェック機能を高め、積極的な調査研究に取  
り組み、議論を活性化し、多くの政策提言  
が行われるような環境づくりに努めます。

”人、環境、文化のさらめく八郎潟“を掲げ  
る「町総合振興第5次基本構想」に基づく、  
3ヶ年「実施計画」は、毎年、点検、修正  
して対応策を講ずる見直しが必要であり、  
議会として、町当局と切磋琢磨し、政策提  
言が大切であると思えます。基幹産業の農  
業を元気がでる農業にし、商工業の活性化  
をはかり、町民の福祉を後退させず、町民  
負担を安易に増やさず、真剣に知恵をだし  
合せて、夢のある、安全、安心の町づくり  
を進めることが大切であります。

町民の皆様のご叱声、ご指導をいただき  
ながら、住んで良かったと実感できる町づ  
くりを進めるため、全力投球で、誠心誠意  
努力して参りますので、よろしくお願い申  
し上げます。

明けまして  
おめでとう  
ございます

議長

小柳 勉

副議長

小野 廣

議員

菊地 勝 仕

畠山 菊 夫

伊藤 秋 雄

金 一 義

斉藤 徹 郎

村井 剛

三戸 留 吉

土橋 吉 晴

近藤 美喜雄

佐藤 長



# 一般質問



村井 剛 議員

## 上水道アオコ対策について

**問** 八郎湖に、大量に発生したアオコが、本町浄水場にまで遡上し、取水停止に追い込まれ、非常事態に至った。

町では、この度の事態を今後に生かすべく、通称「アオコ対策検討委員会」を設置しているが、その検討内容の詳細を問う。

**答** 検討委員会は、水道課経験者10名で構成し、9月26日に発足した。これまで3回開催し、抜本的な対策と事業展開を探り、平成19年度予算措置

に向け検討を重ねる。

検討内容は、①設置要項 ②今夏のアオコ対策の検証 ③緊急時の取水量の確保 ④専門業者からの情報収集 ⑤対策事業の補助金・起債の調査等である。

詳細事項としては、千葉病院付近からの引水で5,000万円程、オイルフェンスの活用、危機管理マニュアルの作成、川の浚渫、地下水利用、浄水場移転改築、又、水道水高度オゾン処理の実験を行い資料・データーの収集を行い検討しているが、アオコ処理能力は未知数である。

**問** 近年の気候の温暖化は、来年度においてもアオコが発生するものとしての対応が急務である。水質は、アオコ発生時が問われるので、複数ヶ所を検討すべきである。その一つとして、本町浄水場より200m上流の

戸村堰排水路の水は、調査の結果水質及び水量に問題はなく、経費の面でも格安である。又、将来展望として、以前には秋田市、この度は藤里町からの引水が浮上しているが、関係町村の関心度、財政負担を考えると、現実的な対応策も検討すべきである。その場合、戸村堰の川崎地区中央部への水源移転問題を視野に入れ検討すべきである。(五城目町との共同事業、湖東病院南側への移転が考えられる)

戸村堰排水路の水は、調査の結果水質及び水量に問題はなく、経費の面でも格安である。

又、将来展望として、以前には秋田市、この度は藤里町からの引水が浮上しているが、関係町村の関心度、財政負担を考えると、現実的な対応策も検討すべきである。その場合、戸村堰の川崎地区中央部への水源移転問題を視野に入れ検討すべきである。(五城目町との共同事業、湖東病院南側への移転が考えられる)

**答** 来年度もアオコが発生する前提のもとで対応する。指摘されている事項も充分考慮し検討する。戸村堰排水路の水については、貴重な意見として検討する。

将来の水道水の確保については、これまでの上水道整備協議会(秋田市から)の件の他、新たに国営能代開拓建設事業によるかんがい用水の一部転用の可能性を県に要望中である。県及び関係町村と連携を密にし、実施に向け働きかけたい。(浄

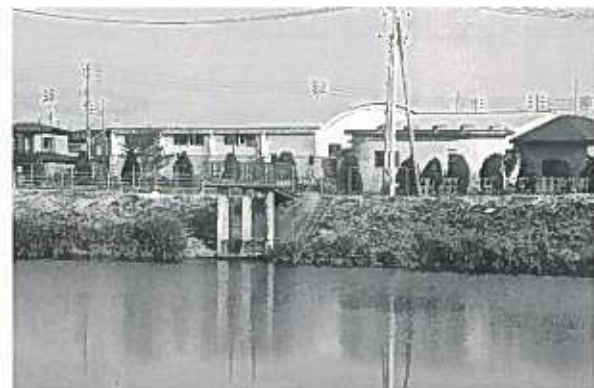
水場移転については、県に要望書提出後、間もない事から特に言及なし)

**問** 八郎湖の富栄養化の汚染源として、水田が最も多いと言われている。(COD値、55・2%。全窒素、39・8%。全リン、53・1%)

八郎湖水質浄化対策を、県に要望書を提出している本町に対し、農業面での積極的な対応を求めるものと思うが、その対策を問う。

**答** 要望書提出後、県庁内に、八郎湖水質保全対策検討委員会が設置され、八郎湖周辺施設を視察し、活動を開始した。

本町の水田汚濁防止策として、代かき時の汚濁の抑制、減農薬栽培、水辺環境整備等、環境保全型農業の推進を図る。



八郎潟町浄水場

## 財政分析による財政計画に なっているか



金 一義 議員

**問** 我が町も第5次基本構想も出来、様々な場面で経費の削減をしながら

苦しい財政運営を続けている。財政の比較分析を行う指標としては財政力指数、経常収支比率、起債制限比率、人口一人当たりの地方債現在高、ラスパイレス指数類似団体の何番目か等の比較がされているか。第5次基本構想の事業を見込んだ財政計画とあるが、今一度財政の比較分析をし、長期財政計画を樹立することについていかがか。また今回示された計画は県に示す財政計画か。

**答** 本町の財政事情から、ここ数年間大きな事業を持っていない。ここ数年は維持管理事業のみを計上している。県にもこの計画を提出している。



### 安全な水道水の確保について「アオコ対策について」

**問** 水道水の確保にアオコによる原因の為、我が町は特にこの8月の10日間にもよる断水騒動は、計り知れない経済損失と八郎潟町のマイナスイメージを考えるとゾッとします。アオコに対する方法論としていろいろ論じられていますが、どれもこれとて性急に解決される打開策がありません。そこで提案しますが、取水地を八郎湖岸に求め井戸を掘り、その地下水の利用があります。また残存湖がすぐ側にあり、この伏流水を水源とする事も考えられます。我が町の場合、一日の水の使用量からみて2本の井戸を必要としますが、地下水の150mの電気探査に400〜600万円程度必要としますが町民の安全安定した水道水源の確保が急がれます。

**答** 今後のアオコ防除に努め取水をどこにするかは上流、下流の考えもあるが地下伏流水の考えも良く今後調査し考えてゆく。

### 公約した役場窓口の土曜、日曜日の営業について



役場の窓口業務

**問** 先の3月議会での手数料条例2条の改定その過程での当局の発言の中で、この条例が改定された時には10月2日より土曜、日曜日の窓口営業をするとこの場で断言しております。しかし現実には前もって電話予約に

よる休日の交付とあり3月の公約された言葉とは大変な違いですがこのような事態にどうしてなったのか、発言の重さをどう考えているか。

### いじめの現状と対策方法について

**答** 総合的見地から平日に電話で受け休日交付にした。

**問** 本町の小、中学校のいじめの現状はどうなっているか。教育委員会の実態の把握は。またどのような取り組みをされ、学校、保護者、生徒との連携、対策を取ろうとしているか。

**答** いじめの現状として小学校は2件、中学校は6件、いじめの内容は言葉のいじめが殆ど。対策としていじめに対する委員会の設置、いじめの調査、中央教育指導主事等の活用助言をもらっている。



三戸 留吉 議員

### 食育の取り組みについて

**問** 生活水準の向上、ライフスタイルの欧米化により、現代人の食生活が大きく変わり栄養のバランスの偏った食事がもとで、小・中学生から肥満や生活習慣病がふえて来ておること国では去年6月に食育基本法を制定いたしました。全国の市町村でも食育に関した取り組みをしております。わが町も学校給食の食への残しの課題や、偏食による成人病生活習慣病を防ぐためにも食事のバランスガイドの様な物を作り行政と家庭がいったいとなって進めてはどうか、また、学校菜園をもっといかし収穫野菜を五感で感じられる体験は貴重であると思えます。

**答** 朝食のとらない子供は中三の女子に少し問題があるが男子にはない。子供は幼少保護者は若いうちに食への関心をもたせる様に啓発する。小中の生徒には家庭科の授業に学校栄養士を活用し偏食のないように月一回の

給食だよりで保護者と連携を取っていくカリキュラムを見ながら学校菜園をもっと活用したい。



八小生徒によるサツマイモ畑づくり





近藤美喜雄 議員

### 町民座談会の開催方法について



町民座談会の様子

**問** 「テーマを絞って話し合ったらどうか」という意見がありました。私も同感です。課題を具体的に提示し、これから町が進めるべき方向を模索する、あるいは、この課題は前に進めるべきか、勇断をもって退くべきかなど、あらゆる角度から意見を聞く「対話集会」

としてはどうか。これがその協働のまちづくりの基本だと考えるが。

**答** 地区町内会及び各団体と連携をとりながら、地域の課題、希望とするテーマなどを含めた内容、会場、開催日などについても協議し、開催のPRなども検討する。

### 元気の出る農業行動計画への取り組みについて

**問** 高齢者問題、条件の良くない水田の放棄拡散、農村社会の環境対策などから集落営農が期待されている。結成のため町も実態をよく把握し、なんらかの支援策を講じていただきたい。農家に元気がなければ町も活気を失う。そこで、農家のやる気を喚起するため、次の具体的な取り組みを検討していただきたい。

①土壌改良と有機栽培を中心とした多収型に頼らない八郎潟ブランド米の

育成。

②生産者自身による野菜などの地域交流直売所の開設。(周辺町村農家との提携)

③都会 田舎交流事業(農村型) (交流から定着へ)

**答** ①について、有機米の八郎潟ブランド米も今後の一つの在り方。例えば、希望農家と町、JAとの研究会をつくり、試験的にやってみる方法もある。19年度に研究する

②について基本構想でも直売所の推進についてかかっているの、今後検討したい。

③について、農村交流事業は今のところ計画は無い。今後の課題として検討する。

### 商店街の現状把握と再支援策について

**問** 基本構想の中で町は「商店街再生支援」をうたっています。どのような支援計画を実施しようとしているのか、更に湖

東3町商工会でも18年3月に「商工業振興ビジョン」を策定し、本町商店街の振興策についても採りあげています。この計画にも町がかかわっていますので、この計画との整合性にも配慮されるのは当然であります。私は地元や関係者の意向を踏まえ、当面、次の二点に対する取り組みが必要だと思いますがいかがでしょうか。

①メイン商店業者の将来に対する意向調査と空き店舗などの実態調査。

②商店街の中に活性化の一助にもなり、伝統文化などの発信とイベントなどにも利用できる、核となる広場の確保。

**答** ①について、19年度に調査実施にむけ進める。②について、旧北都銀行跡地を確保し、商店街活性化及び伝承文化の発信

### イジメの実態把握と対応にどう取り組んでいるか

**問** イジメが原因で自殺などの事故が後を絶たない。本町の小中学校における状況はどうか。また、どのような配慮がなされているのかお伺いします。

地として活用したいと思っっている。今後関係団体等の意見をききながら協働のまちづくりの立場で検討していきたい。

危険信号を感知する先生達の細やかさと校内での検討、対策を講ずる姿勢、家庭からの情報や相談などに十分配慮していただきたい。



一日市商店街



**答** 小中学校ともイジメ発見のため、年2、3回アンケート調査実施、日常の観察、地域や保護者からの情報を大事にしている。ほかに中学校では心の教室相談員、生活ノートなどの記録などでイジメの発見につとめている。あった場合の継続観察もしている。生徒指導部会(小)イジメ対策委員会(中)を設置し、教育長が報告を受けている。

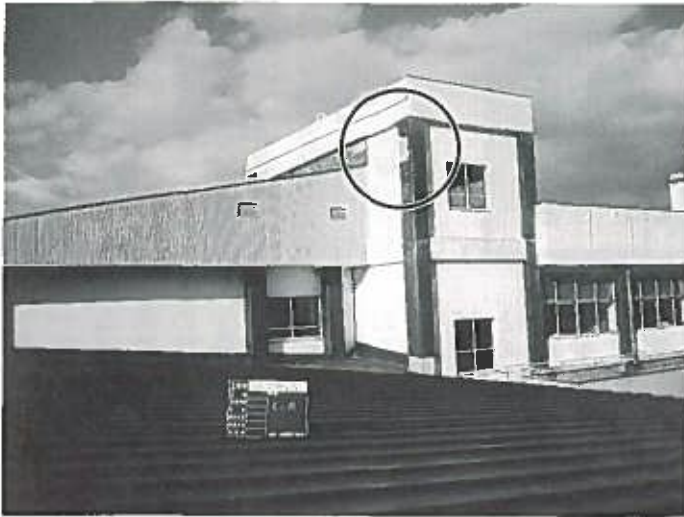
# 委員会審議

## 総務教育 常任委員会

一般会計補正予算歳出での主なものは、総務課関係では、条例及び規則の改正により例規集更新データ作成委託料、光ファイバー導入に伴うプログラム修正委託料等の追加であります。教育課関係では、小・中学校の燃料費の追加、幼稚園の臨時教諭賃金、小学校ポイラーの修繕料、スボ小補助金、改善センターと婦

人会館の畳の入れ換え等でありませう。

尚、小学校の南階段外壁の修繕料130万円の追加については、児童の昇降口上部の破損であり、緊急な修理が必要と考え、専決処分としたもので、原案どおり可決すべきものと決しました。又、この議案について委員より、他に危険箇所はとの間に、来年度の当初予算で専門家から見てもらうことを検討しているとの答弁でした。



八小南外壁の崩落状況

## 民生産業 常任委員会

「上昼根地区産業廃棄物処分予算について」

7月20日の臨時議会に上程された上水道特別会計補正予算で、上昼根地区の国有地（県管理、浄水場隣り）から掘り起こされた土に石綿管が混在していたため、上水道の石綿管を町が処分したのではないかとして、その処理、及び新規埋め戻し土の費用と成分分析委託料など合わせて、2、594千円を町の責任において処理しようとした予算でありました。

町がかつてに捨てたと言根拠もないまま、町が一方的に費用の全額を負担することは認められないとの議会の強い反発により予算を取り下げたものです。

その後、県や町、業者と話し合いの結果、費用を三者で按分することで合意し、石綿管の処分は町、残土は東芝、埋戻し

は県とし、町分の委託料266千円が再度予算計上されました。

当委員会では、その後の経過確認と最初の安易な町の姿勢に厳しく反省を求めながら、この度の予算はやむをえないものとして、可決すべきものと決しました。（該当地はポータホンが携帯電話基地局設置のため、国有地を借り上げ、掘削していたものです。）

**問** 19年度の生産調整が100%達成できないとき、具体的に、どこにどのような影響するか、また、本会議の質疑の中で、

転作を「実施する」「しない」は農家の自由とされる答弁があったが、その解釈はいいか。

**答** 生産調整面積が100%達成できなかった場合でも、他に影響を与えることはない。達成できなかった面積分の転作交付金が入らないだけである。

転作目標の達成に向けての町の取り組みについては、これまでと変わりはせん。農家からも達成するように協力をお願いしたい。誤解があったとすれば訂正いたします。



転作達成率

平成17年	100.02%
平成18年	100.01%
平成19年	?

# 水質調査対策で

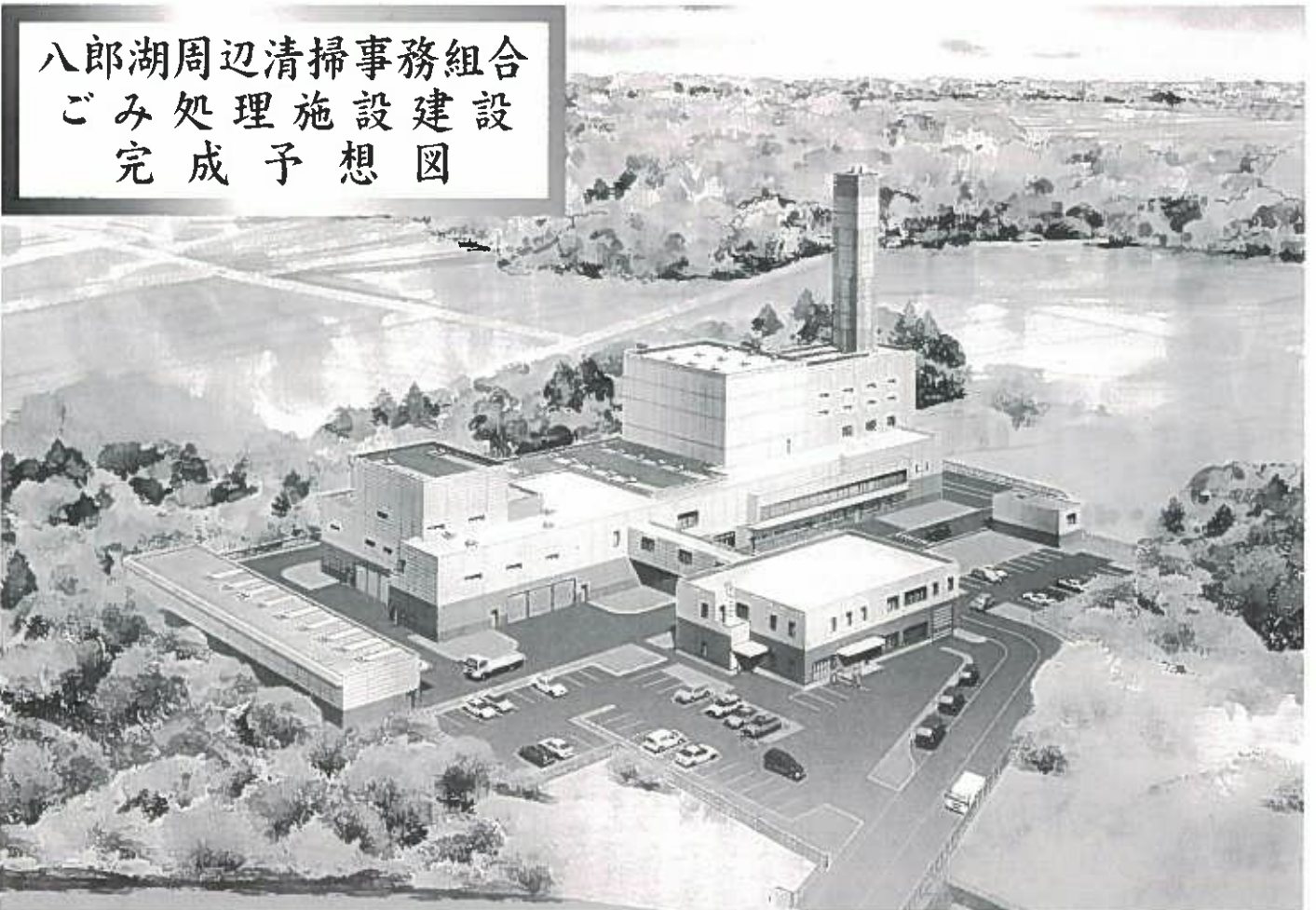
## 県に要望

去る11月28日県庁応接室にて「八郎湖水質浄化対策等についての要望書」を提出した。八郎潟町からは、町長及び担当課長3人。議会からは副議長以下7名が出席し、県からは、副知事及び関係部局職員が出席した。本町からの要望に対し、県側からは、アオコ問題は、県としても大きな課題であり、積極的に取り組む旨語った。



要望書を提出する町長と議員8名

### 八郎湖周辺清掃事務組合 ごみ処理施設建設 完成予想図



平成20年3月完成予定の施設

## ■ 請願・陳情

請願・陳情等の件名	請願・陳情者氏名	審査委員会	本会議結果
「格差社会」を是正し、いのちと暮らしを守るために社会保障の拡充を求める陳情書	秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺 淳	民生産業	採 択
「格差社会」を是正し、いのちと暮らしを守るために庶民増税の中止を求める陳情書	秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺 淳	総務教育	継続審査
療養病床の廃止・削減と患者負担増の中止等を求める陳情書	秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺 淳	民生産業	採 択
秋田県の医師不足を解消し、地域医療の確保を求める陳情書	秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 中村 秀也	民生産業	採 択
町営基地分譲事業の実施について(陳情)	代表 伊藤 春美 他6名	民生産業	採 択
森林・林業・木材関連産業政策と国有林野事業の健全化を求める陳情書の提出について	秋田県「森林・林業・林産業活性化推進議員連盟連絡協議会」 会長 津谷 永光	民生産業	採 択
米価下落に影響を及ぼす低品位米と政府備蓄米の流通見直しを求める陳情書	生き物共生農業を進める会 代表 今野 茂樹	民生産業	採 択
法務局の増員に関する陳情	全法務省労働組合東北地方本部 秋田地方法務局支部秋田分会 分会長 菊地 誠	総務教育	採 択
公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する陳情	秋田建築労働組合 組合長 伊藤 和雄 秋田建築労働組合五城目支所 支部長 田原 忠男	民生産業	採 択



## 議会のうごき

- |                         |                        |
|-------------------------|------------------------|
| 10月19日 全員協議会            | 28日 知事へアオコ対策について要望書を提出 |
| 25日 合同金婚式               | 30日 議会運営委員会、議会広報編集委員会  |
| 26日 南秋正副議長研修会           | 12月6日～8日 12月定例会        |
| 31日 知事と議会議長行政懇談会        | 14日 南秋議長会              |
| 11月10日 八郎潟小学校創立30周年記念式典 | 15日 議会広報編集委員会          |
| 21日 第50回町村議会議長全国大会      | 20日 議会広報編集委員会          |
| 21・24日 町民座談会            |                        |

### 編集後記

昨年は、アオコによる給水制限や高い公債費比率など、よくないイメージでの報道が思い出されます。しかし、秋田朝日放送主催の「あきたふるさと手作りCM大賞2006」では、初出品ながら優秀賞受賞の快挙を遂げ、今後1年間100回のテレビ放映は、2007年にむけ、町民の皆さんへの大きなプレゼントになったのでは。CM制作に携わった皆さんに心から感謝いたします。

議会内容の真実を伝え、一人でも多くの人に見てもらいたいとの思いで本年もよろしくお願ひ申し上げます。

(富山)

#### 議会広報編集委員

委員長	村井 剛
副委員長	近藤 美喜雄
委員	伊藤 秋雄
	小島 菊夫
	小野 勉
	廣 柳